

授業科目名 (ナンバリングコード)	武道論特講演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	前阪 茂樹			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	日本の伝統文化である武道について、その理念や普遍性、修練の構造などの諸特性を前提に、武道のもつ様々な側面を演習形式で討議する。それによって武道の持つ文化的側面に関する高度な知識と研究の方法を追求し、学ぶことを目標とする。				
成績評価の方法	■授業への取り組み状況 (80%) ■レポート等の提出状況 (20%)				
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に判断、評価する。				
テキスト、教材 参考書	事前に読んでおく参考書、文献等：武道学研究（日本武道学会）、今村嘉雄 編集『日本武道大系』（同朋舎）他、その都度提供する。				
履修条件・ 関連科目	武道の経験を有する者が望ましい。	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時：506研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	前阪 茂樹	ガイダンス、授業の進め方		予習約30分	
2	〃	武道修練の構造「稽古」と「練習」		復習及び発表レポートの作成（約2時間）	
3	〃	発表・討論		予習約30分	
4	〃	武道修練の構造「守破離」		復習及び発表レポートの作成（約2時間）	
5	〃	発表・討論		予習約30分	
6	〃	武道修練の構造「三磨之位」と「聞思修」		復習及び発表レポートの作成（約2時間）	
7	〃	発表・討論		予習約30分	
8	〃	武道修練の構造「事」と「理」		復習及び発表レポートの作成（約2時間）	
9	〃	発表・討論		予習約30分	
10	〃	稽古論 日本文化と「かた」		復習及び発表レポートの作成（約2時間）	
11	〃	発表・討論		予習約30分	
12	〃	武道学研究の動向その1 文献レビュー			
13	〃	武道学研究の動向その2 文献レビュー			
14	〃	武道用具（武具・刀剣類）と施設（道場）について		レポート作成（約1時間）	
15	〃	本授業の総括（討論形式での振り返り）			